

令和元年度防府市図書館サービス振興基本計画実施状況の委員評価

記号の見方：●課題、○評価、◇要望、◎質問 ※その他

1. 誰もが等しく学べる、豊かな資料と機能を持つ図書館	2. 地域の人々と手を携えて、豊かな交流の場を創る図書館	3. 生涯学習活動の拠点として、集会文化活動に力を入れ、地域の力を高める図書館
<p>●書庫の保存スペースの確保（残りスペースはどのくらいか。今後どうするか、除籍を含めて検討を期待する）</p> <p>●図書館の利用者の減少</p> <p>○資料収集業務が、計画通り目標冊数に応じた購入がされており、評価できる。一層の活用充実が期待される。</p> <p>○分類法を新訂 10 版に速やかに変更したことは十分に評価できる。資料収集業務が、計画通り目標冊数に応じた購入がされており、設備・備品の点検・修理を随時実施し、かつ環境整備を行っている。レファレンスサービスも充実しており、評価を上げてよいのではないかと。</p> <p>○新型コロナウイルス拡大防止対策のための休館中に全閉架資料の蔵書点検を実施したことを評価する。休館中に実践した図書館サービスについても記載してほしい。</p> <p>○防災メールサービス、メールマガジンへの記事の掲載等の広報活動が評価できる。「ほうふ図書館だより」「ほうふとしょかんこどもしんぶん」等とても読みやすく編集されている。多くの市民の目や耳にふれるとよい。多様な広報活動がなされ、旬な情報発信が評価できる</p> <p>○利用促進について方策がとられており、評価できる。</p> <p>○防犯体制強化や災害に備えての避難訓練実施は、豊かな交流場所を提供するための安心安全につながっていくと思う。</p> <p>○移動図書館の運行業務については、評価できる。職員がとても丁寧な対応で気持ちよかった。コースやステーションの見直しやそれぞれの地域の実情を踏まえての臨時サービスの実施はとてもありがたく、この努力の積み重ねが利用拡大につながっていると思う。</p> <p>○高齢者の移動図書館の利用が多いようなので、注目に値する。</p> <p>○地域のイベントに移動図書館が来ていたことは大変評価できる。</p> <p>○高齢者が、地域文庫に目を通して姿を見かけることが増えたように思う。</p> <p>◇計画的なメンテナンスを望む。</p> <p>◇専門的な立場から、良い本については幼保小中高等学校にも紹介してほしい。選書に役立てたい。</p> <p>◇図書館年報の貸出利用統計表に月別の貸出利用者数、利用冊数が掲載されると開館、休館中の状況が分かり易いので記載を望む。</p> <p>◇レファレンス研修への積極的な参加を期待する。</p> <p>◇イオン側からの図書館案内表示の設置</p> <p>※図書館年報（令和元年度）の、館外個人貸出者数の区分が細かくなり、分かりやすい。（令和 2 年度の評価とします）</p> <p>※コロナウイルス感染予防対策で図書館が閉館中、各公民館の地域文庫の入替がなかったのが残念。</p> <p>※展示に関する記述は、3 に記載した</p>	<p>●ボランティア団体との協働開催の推進。</p> <p>●ボランティアの高齢化。小・中・高校生を巻き込んだ活動を考えてみてはどうか。</p> <p>●「新しい生活様式」の中でどのような交流を図っていくか。</p> <p>●まず多くの人に図書館に来てもらう方法を考えるべき。</p> <p>●イベントの開催については、新型コロナウイルス感染予防対策を工夫しながら積極的に実施して欲しい。</p> <p>○子ども読書フェスティバルは講師と子どもたちの参加型の企画が大変好評だった。作家と読書を図書館と市民ボランティアがつなぐよい機会だった。</p> <p>○図書館まつりの参加者が 3,500 人は評価できる。</p> <p>○市立図書館として、コミュニティセンターとしての機能を高め、地域の絆づくり推進の一翼を担うような存在であることは、とても大切なことである。</p> <p>○ボランティア養成講座をきっかけに、新しくサークルに参加される方があり、成果を実感している。</p> <p>○ボランティア養成講座やボランティア連絡会議の開催は評価でき、継続を望む。新たなボランティア養成講座は、内容を広範囲にしたらどうか。</p> <p>◇子どもが驚きや感動を覚えるような企画ができれば、参加者もふえるのではないかと。</p> <p>※展示に関する記述は、3 に記載した。</p>	<p>●行事のマンネリ化</p> <p>○各行事を精力的にこなしていることは評価できる。</p> <p>○岡本よしろう氏を招いたイベントは、講師の個性が感じられたいいイベントだった。</p> <p>○利用者懇談会の開催継続を高く評価する。参加者を増やす工夫も期待する。</p> <p>○クリスマスおはなし会は魅力的な企画だと思うので、さらに参加者が増えるとよい。</p> <p>○新刊本の閲覧コーナー、話題本の展示コーナー、月例資料展示など、評価できる。</p> <p>○ミニ資料展示はニュースに敏感に反応して作られていて、来館の楽しみになっている。</p> <p>○資料展示の回数が多く、図書館スタッフの負担になっていないか気がかり。</p> <p>◇新型コロナウイルス感染予防対策のイベント中止による影響について検証し、今後の活動に活かすことを望む。</p> <p>◇利用者懇談会の参加者を若干増やす工夫も期待する。</p> <p>※子ども読書フェスティバルの記述は、2 に記載した。</p> <p>※移動図書館の記述は、1 に記載した。</p> <p>※地域文庫の記述は、1 に記載した。</p>

4. 地域の歴史や文化を大切にするとともに、国際理解を深めていく図書館	5. 様々な教育文化施設とのネットワークを進め、サービスする図書館	6. 子どもたちの読書活動を進めていく図書館
<p>●地域資料の出版数の減少により、収集も困難になっているが、寄贈依頼のPRに取り組んでほしい。</p> <p>●三哲文庫の事績の継承</p> <p>○上山満之進生誕150周年記念事業の実施を評価する。イベントや展示が市民の関心を引き、展示の説明もわかりやすく良かった。</p> <p>○郷土資料は引き続き収集・展示を期待。</p> <p>◇郷土資料関係（郷土史、郷土文学等）の職員研修の実施・継続</p> <p>◇防府史料の刊行継続を望む。</p> <p>◇春川市との資料交換業務について、地道な取り組みの継続が大切。</p>	<p>○学校図書館とオンライン・ネットワーク・システムを活用した学校図書館支援図書の利用が多く驚いた。システムの有効活用を期待する。学校支援図書貸出の件数、冊数ともに増加し、図書の有効活用がされており、大いに評価できる。</p> <p>○学校司書の研修支援など学校図書館との連携を評価する。</p> <p>○学校図書館の支援業務は山口県内では先駆的な取り組みであり、さらなる発展を期待する。</p> <p>○防府市文化振興財団が、指定管理をしている他施設との連携したイベント実施は、評価できる。</p> <p>◇学校図書の充実のために支援の継続を今後も期待する。</p> <p>◇小学校での選書会のための支援について、小学校11校からさらに拡大するとともに、中学校にも広がっていけばよいと思う。</p> <p>◎MLA連携とは？</p>	<p>●調べる学習コンクール小学生のレベルの高さに驚いた。中学生に広げていくことは、時間的にかなりハードルが高いと感じる。</p> <p>○「調べる学習にチャレンジ！」は、新しい試みでよかった。継続を望む。</p> <p>○職場体験・図書館見学等の受入件数や人数が増加傾向にありとても望ましい。今後もさらに増えるとよい。</p> <p>○図書館から外部に出向いて実施した「出前おはなし会」「絵本の読み聞かせ」等参加者も増え、事業として定着してきている。さらに、保護者へ周知することができればよい。</p> <p>◇職員によるブックトークはとても効果的であり、評価する。今後も継続して実施の計画を進め、職員を養成し、本の魅力をしっかりと子どもたちに伝えてほしい。</p> <p>◇職場体験や図書館見学は、子どもたちの興味を高めるためにさらに広げてほしい。</p> <p>◇新型コロナウイルス感染防止のため、臨時休館や、おはなし会等イベント中止を余儀なくされたが、今後の児童サービスにどう活かせるか検討してほしい。</p> <p>◎子ども読書活動推進に関する事業において、高校生を巻き込んだ活動が行われたか？</p> <p>※図書館は、子どもに読書の楽しさを伝えることが基本。その上で調べ学習があるので、読書イコール学習ではない。調べる過程が楽しく感じられると良いと思う。</p>

7. 障害者や高齢者に優しい図書館

- 厳しい立地条件であるからこそ、できるサービス（配慮）を考えていくべき。
- 市広報音声版等CD等の図書館利用を積極的に促進。
- 障害者や高齢者の生きがいづくりの受け皿のひとつとして、図書館の果たす役割は大きい。それゆえにボランティアの協力が不可欠であり、その掘り起こしと育成が大切。ボランティアの力を借りることを前提にした方策を。
- 図書館を利用していない障害者や高齢者に対してのPR活動・利用の促進

○館内や資料、人材は優しい図書館を満たしているので評価できる。
○公民館のシルバー教室でのブックトークはとても評価できる。地道な活動が図書館の利用促進につながる。

◇図書館ボランティアの協力も得て、高齢者サービスの広がりを期待する。音読教室や回想法等にもチャレンジしてほしい。

◇ルルサス1階の空きスペースを図書館の案内スペースにならないか。高齢者や障害者、また小さな子どもを抱えた母親が気軽に立ち寄ることができ、エレベーターを使うとすぐに図書館へと案内移動ができる。

◇ルルサス南に図書館案内の表示の設置を要望。

◇高齢者がたまたま来館し、本を読もうとした際、すぐに手に取れる老眼鏡や虫眼鏡があるとよい。

◎手話通訳できる職員はいるか。

※移動図書館の記述は、1に記載した。

令和元年度防府市図書館サービス振興基本計画 実施状況評価表(案)

資料2

評価基準 A:計画通り実施し、一定の成果があった。
 B:概ね計画通りだが、不十分な点や今後の課題が残った。
 C:不十分な点や課題が多く、計画通りに行かなかった

1 誰もが等しく学べる、豊かな資料と機能を持つ図書館

(1)市民の日常生活、学習活動に寄与する、質・量ともに充実した資料を持つ図書館

R元年度 事業計画	①資料収集業務 ・「防府図書館資料収集要綱」に基づく適正な選書・収集と質・量両面の充実 ・図書購入目標冊数12,600冊。内一般9,500冊、児童3,000冊、郷土関係100冊 ・視聴覚資料購入目標点数155点。内CD130点、DVD25点 ②資料分類・目録整備業務 ・迅速・正確な資料の組織化(分類・目録)、装備と分かりやすいOPAC(オンライン閲覧目録)の提供 ③書架管理・蔵書点検業務 ・書架の整理整頓、全開架資料の蔵書点検の実施(10月・3月) ④資料提供業務 ・正確・迅速な貸出、返却、登録、予約・リクエスト受付業務の推進		
事業実施 状況	①資料収集業務 ・「防府図書館資料収集要綱」に基づいて適正な選書・収集を実施 ・図書購入冊数13,135冊。内一般9,844冊、児童3,148冊、郷土関係93冊 ・視聴覚資料購入点数155点。内CD130点、DVD25点 ②資料分類・目録整備業務 ・迅速・正確な資料の組織化(分類・目録)、装備と分かりやすいOPAC(オンライン閲覧目録)を提供 ・資料の分類法を「日本十進分類法新訂8版」から「日本十進分類法新訂10版」に変更(10月発注分より) ③書架管理・蔵書点検業務 ・書架の整理整頓、全開架資料の蔵書点検を実施(11月12日・13日・14日、3月3日・4日・5日) ・全閉架資料(和書・新聞・雑誌を除く)の蔵書点検を実施(3月6日～26日) ④資料提供業務 ・貸出、返却、登録、予約・リクエスト受付業務を迅速・適正に遂行		
課題等	・閉架資料の書架(保存スペース)の確保		
自己評価	・概ね計画通り実施できた	評価	B

(2)老若男女を問わず、様々な立場の人が、誰でも気軽に楽しく利用できる図書館

R元年度 事業計画	①コンピュータシステム管理業務 ・円滑な運用によるサービスの強化 ・Web上での検索・予約・貸出期間延長、読書手帳、My本棚、読書マラソン等の機能の活用 ②情報発信(広報)業務 ・ホームページの整備、充実 ・「ほうふ図書館だより」「ほうふとしょかんこどもしんぶん」「新刊紹介」の発行(月刊)、市広報「ほうふ」・防府市文化振興財団広報紙「イベントアイ」への定期的な記事の掲載、地域コミュニティーFMラジオやケーブルテレビ等の活用の推進 ③図書館年報作成業務 ・「平成30年度図書館年報」(一般用・子ども用)の発行(5月31日) ④サービス環境整備・安全対策・危機管理業務 ・施設・設備・備品の日常点検と安全で快適な利用環境の整備、的確な状況把握と防犯管理、危機管理体制の改善と整備(定期消防訓練2回・普通救命講習会実施) ⑤利用マナー啓発業務 ・「マナーアップキャンペーン」「グッドマナーチャレンジ」(7月1日～8月31日)の実施
--------------	---

事業実施状況	<ul style="list-style-type: none"> ・令和元年度館外個人貸出者数141,371人、館外個人貸出冊数537,738冊 ①コンピュータシステム管理業務 <ul style="list-style-type: none"> ・それぞれの世代等によって異なる利用目的に適應できるサービスを展開 ・Web上での検索・予約・貸出期間延長、読書手帳、My本棚、読書マラソン等についてホームページ上で紹介 ②情報発信(広報)業務 <ul style="list-style-type: none"> ・ホームページの内容を随時更新 ・「ほうふ図書館だより」「ほうふとしょかんこどもしんぶん」「新刊紹介」を毎月発行、「行政関係図書紹介」を季刊で発行、市広報「ほうふ」・防府市文化振興財団広報紙「イベントアイ」へ定期的に記事を掲載、「防府市メールサービス」・防府市文化振興財団広報「メールマガジン」へ随時記事を掲載、地域コミュニティFMラジオ(FMわっしょい「防府市からのお知らせ」に毎月第2・4木曜日、同局のビブリオバトル告知番組に3回)やケーブルテレビジョン(「まちかどNEWS」5月16日)に出演 ③図書館年報作成業務 <ul style="list-style-type: none"> ・平成30年度「図書館年報」(一般用)・「数字で見る防府図書館」(子ども用)を発行(5月31日) ④サービス環境整備・安全対策・危機管理業務 <ul style="list-style-type: none"> ・設備・備品の点検と修理を随時実施し、親子読書コーナーのカーペットを張り替え(11月)、電話機(6月)・展示室照明器具(8月)・絵画用展示ケース(9月)を交換 ・保安・警備・防犯対策の一環として、施設管理会社との協議を毎月開催 ・図書館独自の消防避難訓練(11月14日、3月5日)を実施、ルルス防府消防避難訓練(10月17日、3月26日)に参加 ・防犯体制強化の一環として、防犯カメラ2台・夜間用センサー7台を設置し(8月)、出入り口欄間部分を改修 ・新型コロナウイルス感染拡大防止のため臨時休館し(3月6日～26日)、研修室・準備室・お話のへや等を閉鎖(3月6日～31日) ⑤利用マナー啓発業務 <ul style="list-style-type: none"> ・「マナーアップキャンペーン」「グッドマナーチャレンジ」(7月1日～8月31日)を実施 		
課題等	<ul style="list-style-type: none"> ・経年劣化しつつある設備のメンテナンス 		
自己評価	<ul style="list-style-type: none"> ・概ね計画通り実施できた 	評価	B
(3) 図書館から遠い所に住んでいる人にも、サービスできる図書館			
R元年度事業計画	<ul style="list-style-type: none"> ①移動図書館車「わっしょい文庫」運行業務 <ul style="list-style-type: none"> ・移動図書館車「わっしょい文庫」に常時3500冊の図書を積載し、6コース37ステーションを2週間に1回の周期で巡回 ・コース、ステーション等の半年毎の見直し ・地域イベント等に合わせた移動図書館車臨時出張サービスの実施 		
事業実施状況	<ul style="list-style-type: none"> ①移動図書館車「わっしょい文庫」運行業務 <ul style="list-style-type: none"> ・移動図書館車「わっしょい文庫」に常時3500冊の図書を積載し、6コース37ステーションを2週間に1回の周期で運行 ・各コース、ステーションの利用状況を分析 ・地域イベント(「二輪のサクラ祭」・「みんな集まれ！はたらく車展」・「防府市緑花祭」・「イオン防府店開店記念祭」・「西浦まつり」・「大道まつり」・「すごいぞ！防府 秋の大イベント」)で移動図書館車臨時出張サービスを実施 		
課題等	<ul style="list-style-type: none"> ・移動図書館ステーションの利用度格差の拡大 		
自己評価	<ul style="list-style-type: none"> ・概ね計画通り実施できた 	評価	B

(4) 調査・研究・読書相談などに、的確に対応できる図書館			
R元年度 事業計画	①レファレンス(調査研究相談・読書相談)業務 ・調査研究活動支援、資料利用案内、読書案内等のレファレンスサービスの推進 ・国立国会図書館の「図書館向けデジタル化資料送信サービス」閲覧業務の利用促進と「レファレンス協同データベース」の活用 ・他の図書館や機関等に問い合わせたり案内したりするレフェラルサービスの推進 ・レファレンス事例集や新着図書案内・テーマ別ブックリスト・パスファインダー(テーマ別資料利用案内)等の充実 ・レファレンス研修、フロアワークの強化 ②図書館資料の複写サービス業務 ・著作権法や防府市手数料条例に基づく適正な複写サービスの実施		
事業実施 状況	①レファレンス(調査研究相談・読書相談)業務 ・調査研究活動支援、資料利用案内、読書案内等のレファレンスサービスを実施 ・国立国会図書館の「図書館向けデジタル化資料送信サービス」について、ちらしやホームページで紹介するとともに、「レファレンス協同データベース」を活用してのサービスを実施 ・他の図書館や機関等に問い合わせたり案内したりするレフェラルサービスを推進 ・レファレンス事例集や新着図書案内・テーマ別ブックリスト・パスファインダー(テーマ別資料利用案内)等を作成・整備 ・利用者へのサービスをより充実させるため、レファレンス研修に参加 ②図書館資料の複写サービス業務 ・著作権法や防府市手数料条例に基づく適正な複写サービスを実施		
課題等	・職員のレファレンス対応能力の向上		
自己評価	・概ね計画通り実施できた	評価	B

【図書館協議会の意見(案)】			
1-(1) 資料収集業務が、計画通り目標冊数に応じた購入がされていること、分類法を新訂10版に速やかに変更したことは評価できる。 1-(1) 全閉架資料の蔵書点検を実施したことは評価できる。 1-(2) 図書館年報の貸出利用統計表に、月別の貸出利用者数、利用冊数の掲載を望む。 1-(2) 利用促進については方策がとられており評価できるが、入館者の減少に対する方策に課題が残る。 1-(2) 多様な広報活動がなされ、旬な情報発信が評価できる。 1-(2) 防犯体制強化や災害に備えての避難訓練実施は、安心安全な交流場所の提供につながるため、評価できる。設備や備品の点検と、計画的な設備のメンテナンスを望む。 1-(3) コースやステーションの見直しをしながら行う移動図書館車の通常運行業務と、地域イベント等に合わせた臨時出張サービスの実施は、利用拡大につながっている。 1-(4) 図書館おすすめ本のテーマ別ブックリスト等の作成と配布希望 1-(4) レファレンス研修への積極的な参加を期待する。			

2 地域の人々と手を携えて、豊かな交流の場を創る図書館

(1) 様々な図書館事業を利用者と協働して行い、学習交流の場、コミュニティセンターとしての機能を持つ図書館

R元年度 事業計画	①ボランティア団体・生涯学習グループ等との協働推進業務 ・第9回「防府市子ども読書フェスティバル」(5月26日)、第29回「防府図書館まつり」(10月19日)を、各実行委員会、ボランティア団体等と協働で開催		
事業実施 状況	①ボランティア団体・生涯学習グループ等との協働推進業務 ・第9回「防府市子ども読書フェスティバル」を5月26日(参加者数228人)、第29回「防府図書館まつり」を10月19日(参加者数3,500人)に、各実行委員会、ボランティア団体等と協働で開催		
課題等	・各行事の参加者数を増やす方策		
自己評価	・概ね計画通り実施できた	評価	B

(2) 学習ボランティアや、障害のある利用者のためのボランティアが、いきいきと楽しく活動できる図書館

R元年度 事業計画	①ボランティア活動推進業務 ・「防府図書館ボランティア連絡会議」の開催(1月) ・「図書館ボランティア養成講座」の開催(2月頃4回シリーズ)		
事業実施 状況	①ボランティア活動推進業務 ・「防府図書館ボランティア連絡会議」を1月23日に開催し、現状と課題について意見交換(参加者数17人) ・「図書館ボランティア養成講座」を2月6日(参加者数15人)、2月13日(参加者数20人)、2月20日(参加者数35人)、2月27日(参加者数19人)に開催		
課題等	・新たなボランティアの養成とスキルアップ		
自己評価	・概ね計画通り実施できた	評価	B

【図書館協議会の意見(案)】

- 2-(1) ボランティア団体との協働開催の推進をすべき。
- 2-(1) 「新しい生活様式」に沿ったイベントの開催。
- 2-(1) まず多くの人に図書館に来てもらう方法を考えるべき。
- 2-(1) 子ども読書フェスティバルは、図書館と市民ボランティアが協働して、子ども参加型の企画ができたことが評価できる。今後も子どもが驚きや感動を覚えるような企画ができれば、更に参加者も増えるのではないか。
- 2-(1) 市立図書館として、コミュニティセンターとしての機能を高め、地域の絆づくり推進の一翼を担うような存在であることは、評価できる。
- 2-(2) ボランティア養成講座をきっかけに、新しくボランティアとして参加される方があり、評価できる。講座の内容を広範囲に広げてほしい。
- 2-(2) ボランティア連絡会議の開催は、現状と課題について意見交換でき、評価できる。
- 2-(2) ボランティアの高齢化が進んでいるため、小・中・高校生を巻き込んだ活動が必要。

3 生涯学習活動の拠点として、集会文化活動に力を入れ、地域の力を高める図書館

(1) 様々な図書館行事を積極的に行い、地域の文化発展に貢献する図書館

R元年度 事業計画	①イベント・懇談会業務 ・第9回「防府市子ども読書フェスティバル」(5月26日)において、イラストレーター岡本よしろう氏による講演会とワークショップを開催 ・「防府図書館ビブリオバトル」の開催(5月・7月・11月の3回) ・「防府図書館利用者懇談会」の開催(11月) ②資料展示・展覧会業務 ・展示コーナー・中央カウンター前・児童カウンター横での月例資料展示、新刊コーナー横・ヤング図書コーナー前でのミニ資料展示の定期的な実施 ・新聞・雑誌コーナー壁面での市民の作品展覧会の開催		
事業実施 状況	①イベント・懇談会業務 ・第9回「防府市子ども読書フェスティバル」(5月26日)において、絵本作家岡本よしろう氏による講演会とワークショップを開催 ・「防府図書館ビブリオバトル」を5月26日(参加者数71人)、11月9日(参加者数23人)に開催したが、3月20日に予定していた第3回は新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止 ・「防府図書館利用者懇談会」を11月29日(参加者数10人)に開催 ・「クリスマスおはなし会」を12月21日(参加者数30人)に開催 ②資料展示・展覧会業務 ・展示コーナー・中央カウンター前・児童カウンター前での月例資料展示を35回、新刊コーナー横・ヤング図書コーナー前でのミニ資料展示を49回実施 ・新聞・雑誌コーナー壁面での展示を4回実施		
課題等	・各行事の参加者数を増やす方策		
自己評価	・概ね計画通り実施できた	評価	B

(2) 生涯学習グループ活動を奨励し、その育成を図る図書館

R元年度 事業計画	①生涯学習グループ活動奨励・施設利用等許可業務 ・生涯学習グループへの機会・場・設備・資料等の提供と活動支援の推進		
事業実施 状況	①生涯学習グループ活動奨励・施設利用等許可業務 ・生涯学習グループへの機会・場・設備・資料等を提供し、その活動をホームページ上で紹介		
課題等	・グループ数や会員数を増やす方策		
自己評価	・概ね計画通り実施できた	評価	B

【図書館協議会の意見(案)】

- 3-(1) 行事のマナー化を打破する。
- 3-(1) 各行事を精力的にこなしていることは評価できる。岡本よしろう氏を招いたイベントは、講師の個性が感じられたいいイベントだった。
- 3-(1) 利用者懇談会の開催継続を高く評価する。今後参加者を増やす工夫も期待する。
- 3-(1) クリスマスおはなし会は、魅力的な企画で良い。
- 3-(1) ミニ展示を含む月例展示等は、数多く開催されており、内容も多岐に渡り大変評価できる。
- 3-(1) 新型コロナウイルス感染予防対策のため、イベント中止が続いているが、新しい生活様式に沿ったイベントの検討を期待する。

4 地域の歴史や文化を大切にするとともに、国際理解を深めていく図書館

(1) 地域(郷土)資料を、積極的に収集・整理・保存・提供する図書館

R元年度 事業計画	①地域(郷土)資料収集業務 ・地域資料、特に防府市関係資料についての、特徴的なコレクション形成の推進 ・年間郷土資料収集目標冊数450冊		
事業実施 状況	①地域(郷土)資料収集業務 ・地域資料、特に防府市関係資料について情報を収集し、多岐にわたる分野の資料を収集 ・年間郷土資料収集冊数416冊(購入冊数93冊、寄贈冊数323冊)		
課題等	・郷土資料出版情報の収集に係る体制の確立		
自己評価	購入冊数、寄贈冊数ともに目標に届かなかった	評価	B

(2) 地域(郷土)の歴史や文化に係る事業を積極的に行う図書館

R元年度 事業計画	①上山満之進と三哲文庫顕彰業務 ・展示室常設展示「上山満之進と三哲文庫」の展示替え ②「防府史料」刊行業務 ・防府史料第69集『防府地形の変遷』(御園生翁甫・著)の刊行とホームページへの掲載(3月)		
事業実施 状況	①上山満之進と三哲文庫顕彰業務 ・展示室常設展示「上山満之進と三哲文庫」を一部展示替え ・上山満之進生誕150年事業の一環として、展示室において絵画「東台湾臨海道路」を展示(9月27日～10月14日) ・ブラウジングコーナー壁面において、パネル展示「上山満之進生誕150年」を実施(9月4日～11月11日) ②「防府史料」刊行業務 ・防府史料第69集『防府地形の変遷』(御園生翁甫・著)を3月13日付けで刊行し、ホームページへ掲載		
課題等	・郷土史、郷土文学に関する職員研修		
自己評価	概ね計画通り実施できた	評価	B

(3) 姉妹都市などの図書館との交流事業を推進し、国際理解を深めるための資料を積極的に収集・整理・保存・提供する図書館

R元年度 事業計画	①春川市立図書館との資料交換業務 ・大韓民国春川市立図書館との資料交換と市民への提供(年1回、100冊程度交換)		
事業実施 状況	①春川市立図書館との資料交換業務 ・大韓民国春川市立図書館から寄贈された図書100冊を受贈登録し、春川市立図書館へ図書100冊を寄贈		
課題等	・外国語、外国文化に関する職員研修		
自己評価	概ね計画通り実施できた	評価	B

【図書館協議会の意見(案)】

- 4-(1) 地域資料の出版数の減少により、収集も困難になっているが、寄贈依頼のPRに取り組んでほしい。
今後も引き続き収集・展示を期待する。
- 4-(1) 郷土資料関係の職員研修の実施、継続を望む。
- 4-(2) 上山満之進生誕150周年記念事業の実施は評価できる。
- 4-(2) 三哲文庫の事績の継承を望む。
- 4-(2) 防府史料の刊行継続を望む。
- 4-(3) 春川市との資料の交換業務については、今後も地道な取り組みの継続を望む。

5 様々な教育文化施設とのネットワークを進め、サービスする図書館

(1) 学校や公民館との連携を深め、支援事業・協力事業を推進する図書館

R元年度 事業計画	①学校図書館支援業務 ・学校図書館とのオンライン・ネットワーク・システムを活用した学校支援図書の利用促進 ・学校司書の研修の機会や場の提供 ②「地域文庫」・団体貸出業務 ・地域文庫・貸出文庫の利用促進		
事業実施 状況	①学校図書館支援業務 ・学校図書館とのオンライン・ネットワーク・システムを活用した学校支援図書貸出(件数338件・冊数3,250冊) ・学校司書の研修の機会や場を随時提供 ・小学校(11校)で開催された選書会のためのリスト作成と新刊図書貸出 ②「地域文庫」・団体貸出業務 ・地域文庫・貸出文庫を運営		
課題等	・学校図書館とのネットワークシステムの有効活用		
自己評価	・学校図書館との連携を強化できた	評価	A

(2) 他の図書館や博物館・美術館との相互協力を推進する図書館

R元年度 事業計画	①他の図書館や文書館・博物館・美術館との連携業務 ・他の図書館との資料相互貸借・レファレンス協力・合同研修等の推進 ・文書館・博物館・美術館との連携強化 ②防府市文化振興財団内連携業務 ・財団内連携推進会議の開催(毎月1回) ・文化事業との連携推進 ・科学事業との連携推進 ・山頭火ふるさと館との連携推進		
事業実施 状況	①他の図書館や文書館・博物館・美術館との連携業務 ・県内外の図書館との資料相互貸借(貸出1,060冊・借用870冊)・レファレンス協力・合同研修等を実施 ・文書館・博物館とネットワークを通じてMLA連携 ②防府市文化振興財団内連携業務 ・毎月1回財団内連携推進会議を開催し、連携事業について検討・協議 ・文化事業との連携として、アスピラート「第19回防府音楽祭」に合わせて関連資料を展示 ・科学事業との連携として、ソラール「究める！マグネット展」・「もぐもぐ探検隊！～”くち”から”おしり”まで～」・「パネル展 星のある風景」に合わせて関連資料を展示 ・山頭火ふるさと館との連携として、山頭火の「今月の一句」と解説を展示		
課題等	県内外の図書館等との連携強化		
自己評価	・概ね計画通り実施できた	評価	B

【図書館協議会の意見(案)】

- 5-(1) 山口県内での先駆的な取り組みである、学校図書館とのオンライン・ネットワーク・システムを活用し、学校図書館支援図書の貸出が多くなっており評価できる。今後も引き続き図書の有効活用を期待する。
- 5-(1) 学校司書の研修支援など学校図書館との連携を評価する。
- 5-(1) 学校図書の充実のために支援の継続を今後も期待する。
- 5-(1) 学校で開催される選書会については、更なる支援を望む。
- 5-(2) 防府市文化振興財団が、指定管理をしている他施設との連携したイベント実施は、評価できる。

6 子どもたちの読書活動を進めていく図書館

(1) 子ども読書活動推進を図るための研究と事業を、積極的に行う図書館

R元年度 事業計画	①子ども読書活動推進業務 ・「子ども図書館員」の開催(8月2回) ・「第7回防府市図書館を使った調べる学習コンクール」の防府市教育委員会との共催 ・職場体験・図書館見学等の奨励 ・公共施設・商業施設等での出前講座・出張イベント等の開催		
事業実施 状況	①子ども読書活動推進業務 ・「子ども図書館員」を7月29日、8月5日に開催(参加者数18人) ・「第7回防府市図書館を使った調べる学習コンクール」を防府市教育委員会と共催(応募作品数:小学生52点・中学生24点) ・調べる学習コンクール出品予定者を対象に、個別に助言する「調べる学習にチャレンジ!」を8日間開催(参加者数17人) ・職場体験・図書館見学等を受入(職場体験:25件199人、図書館見学:7件396人) ・イオン防府店で毎月第3日曜日(家庭の日)に「おはなし会」を開催し、「子ども家庭支援センター”海北”」に出張(11月22日)して絵本の読み聞かせを実施		
課題等	・調べる学習コンクールへの出品者数を増やす方策		
自己評価	・概ね計画通り実施できた	評価	B

(2) 子ども読書活動推進のためのボランティア活動を奨励し、その育成を図る図書館

R元年度 事業計画	①ボランティアとの連携・協働業務 ・ボランティアとの連携・協働の推進 ・ボランティア主催行事・研修等における図書館職員のブックトーク等の実施		
事業実施 状況	①ボランティアとの連携・協働業務 ・ボランティアとの連携・協働について関係者と随時情報交換 ・毎月2回のボランティア主催行事「おはなしでんしゃ」、「利用者・サークル連絡会」の研修会(4月25日・2月26日)、「学校図書ボランティアネット・防府」の研修会(6月13日)において、図書館職員によるブックトーク等を実施		
課題等	・ボランティアとの協働事業の推進		
自己評価	・概ね計画通り実施できた	評価	B

【図書館協議会の意見(案)】

- 6-(1) 調べる学習コンクールの中学生の出品数を増やす方策を望む。
- 6-(1) 「調べる学習にチャレンジ!」は、新しい試みで良かった。継続を望む。
- 6-(1) 職場体験・図書館見学等の受入件数や人数が増加傾向にあり、評価できる。子どもたちの興味を高めるためにさらに広げてほしい。
- 6-(1) 図書館から外部に出向いて実施した「出前おはなし会」「絵本の読み聞かせ」等は、参加者も増え評価できる。更なる周知を望む。
- 6-(1) 図書館は、子どもに読書の楽しさを伝えることが基本。読書イコール学習ではない。調べる過程が楽しく感じられると良い。
- 6-(1) 新型コロナウイルス感染予防対策のため、臨時休館やおはなし会等イベント中止を余儀なくされたが、今後の児童サービスにどう活かせるか検討を期待する。
- 6-(2) 職員によるブックトークはとても効果的であり、評価する。今後も継続して実施を進め、職員を養成し、本の魅力をしっかりと子どもたちに伝えてほしい。

7 障害者や高齢者に優しい図書館

(1) 障害者や高齢者が、気軽に楽しく簡単に利用できる図書館

R元年度 事業計画	①障害者・高齢者への資料・情報提供サービス業務 ・点字本・大活字本・音声資料等の整備・充実 ・視覚障害者用音声付インターネットサービス利用の促進		
事業実施 状況	①障害者・高齢者への資料・情報提供サービス業務 ・点字本・大活字本・音声資料等を収集・整備 ・視覚障害者用音声付インターネットサービスについて、リーフレットやホームページ上で紹介		
課題等	・障害者や高齢者の図書館利用促進		
自己評価	・概ね計画通り実施できた	評価	B

(2) 視覚障害者や高齢者のための対面朗読、音訳図書製作、郵送貸出などのサービスを、積極的に行う図書館

R元年度 事業計画	①対面朗読・音訳図書製作・郵送貸出等の業務 ・対面朗読・音訳図書製作・郵送貸出等のサービスの推進		
事業実施 状況	①対面朗読・音訳図書製作・郵送貸出等の業務 ・対面朗読(0件)・郵送貸出(3件14冊) ・牟礼公民館のシルバー教室に出張し、図書館職員によるブックトークを実施		
課題等	・障害者や高齢者のためのサービスの周知		
自己評価	対面朗読や郵送貸出の利用がなかった	評価	B

(3) 障害のある利用者のためのボランティア活動を奨励し、その育成を図る図書館

R元年度 事業計画	①障害のある利用者のためのボランティア活動支援業務 ・ボランティア活動への支援 ・ボランティアによる施設・設備・資料等の活用の促進		
事業実施 状況	①障害のある利用者のためのボランティア活動支援業務 ・ボランティア活動への支援として、ホームページ上での会員募集を実施 ・ボランティアへの施設・設備・資料等の提供		
課題等	・次世代を担うボランティアの育成		
自己評価	・概ね計画通り実施できた	評価	B

【図書館協議会の意見(案)】

- 7-(1) 厳しい立地条件ではあるが、障害者や高齢者に優しい図書館として、できるサービス(配慮)を考えていくべき。
- 7-(1) 市広報音声版CD等の図書館利用を積極的に促進してほしい。
- 7-(1) 図書館を利用していない障害者や高齢者に対するPR活動・利用の促進を望む。
- 7-(1) 館内や資料、人材は優しい図書館を満たしているので評価できる。
- 7-(1) ルルサス1階の空きスペースを、図書館の案内スペースにする等、エレベーターを使うとすぐに図書館へと案内・移動ができるような工夫ができないか。
- 7-(2) 公民館のシルバー教室でのブックトークはとも評価できる。
- 7-(3) 障害者や高齢者の生きがいづくりにおいて、図書館の果たす役割は大きい。それには、ボランティアの協力が不可欠であるため、その掘り起こしと育成を望む。
- 7-(3) 図書館ボランティアの協力も得て、高齢者サービスの広がりを期待する。音読教室や、回想法にもチャレンジしてほしい。

防府市立防府図書館個人館外貸出状況

令和元年度年齢別利用者数

年齢	登録者数	貸出者数 (のべ人数)	貸出冊数
0-6	1,159	4,477	24,431
7-12	3,847	13,521	61,791
13-15	1,874	2,598	10,191
16-18	2,504	1,613	5,327
19-22	2,496	1,903	7,075
23-30	3,922	4,419	14,819
31-40	5,921	18,358	79,081
41-50	6,405	24,739	94,166
51-65	5,633	32,044	106,732
66-	6,206	37,699	134,125
合計	39,967	141,371	537,738

令和元年度分類別貸出冊数

	分類	冊数
一般書	0類 (総記)	4,823
	1類 (哲学)	15,077
	2類 (歴史)	20,915
	3類 (社会科学)	28,983
	4類 (自然科学)	20,635
	5類 (技術.工学)	46,392
	6類 (産業)	11,378
	7類 (芸術.美術)	23,573
	8類 (言語)	4,588
	9類 (文学)	125,343
		計
児童書	0-8類	49,056
	9類	38,857
	E (絵本)	87,360
	紙芝居	2,250
	計	177,523
	雑誌	36,652
	郷土資料	4,345
	外国語の図書	715
	点字資料	0
	視聴覚資料	16,796
合計		537,738

防府図書館月別利用者数〔令和元年度〕

	館外個人貸出冊数(冊)	館外個人貸出人数(人)
令和元年 4月	45,984	12,058
5月	45,733	12,229
6月	50,248	13,172
7月	53,130	13,808
8月	54,761	14,136
9月	46,908	12,427
10月	44,920	12,063
11月	43,525	11,746
12月	42,057	11,073
令和2年 1月	45,785	11,948
2月	47,069	12,312
3月	17,618	4,399
合 計	537,738	141,371